

デクスラゾキサン Dexrazoxane

●サビーン(キッセイ)  
点滴静注用: 500mg

[特]A.1.アントラサイクリン系抗癌薬は、少量の漏出でも重度の組織壊死(疼痛、水泡、壊死、潰瘍化)をおこす。

2.アントラサイクリン系抗癌薬のトポイソメラーゼIIへの作用を阻害し→血管漏出による組織障害を抑制。

3.トポイソメラーゼ阻害薬のため、抗癌作用への影響があるが、血管漏を重視し、アントラサイクリンの多数回投与のうちの単回分の対応はやむを得ない。

B.[調製]注射用水25 mLに溶解(20mg/mL: pH1.4~1.8と強酸性)、必要量を取り、次の輸液で500mLに希釈(希釈後も酸性である):

乳酸リンゲル(→pH3.6),  
生食(→pH2.2),5%糖(→pH2.2)。

・他剤との混注禁。  
・薬液は酸性で細胞毒性もあるため、接触時は直ちに洗浄除去する。

C.希釈後は分解物生成のため、希釈150分以内に投与完了する。

D.点滴静注後、速やかに分解が始まる。  
E.半減期約2時間で、尿へ34~48%排泄。

[効]アントラサイクリン系

抗悪性腫瘍剤の血管外漏出  
[用]漏出部位の血流を十分確保するため、冷却は15分前に中止しておく

a. 血管外漏出6時間以内に開始:

・初日目及び2日目は  
1000 mg/m<sup>2</sup>,最大2000mg  
3日目は500 mg/m<sup>2</sup>最大1000mgを、

・1日1回、同じ時刻に、  
太い静脈に1~2時間で点静、  
(禁: 筋注、皮下注)

・中等度及び高度腎機能障害  
(Ccr<40)では通常の半量を投与。

[禁]a.妊婦(胎児毒性、催奇形)。

b.男女共、投与後も3ヵ月以上避妊。  
c.授乳を中止。

[真]1.腎機能障害。

2.肝機能障害。

3.高齢者。

4.生殖可能年齢→性腺への影響。

[注]1.投与中~投与後に

骨髄抑制などに注意→[副]A.重大  
→定期的血液検査。

2.腎機能障害→血液毒性。

3.本剤で骨髄抑制→免疫能低下のため  
→生ワクチンは禁。

[併]B.慎: フェニトインの吸収低下

→痙攣の悪化。

[副]71%]A.重大: 骨髄抑制(投与10日以上後にも発現例): ●白血球減72%,  
●好中球減60%, ●血小板減26%,  
●ヘモグロビン減42%。

D. ●悪心27%, ●嘔吐12%, ●下痢5%,  
口内炎, 口内乾燥, 口渇, 食欲減退, 腹痛,  
胃炎, ●脱毛8%, 点状出血, そう痒 ●浮  
動性めまい7%, 頭痛, 感覚消失, 傾眠, 失  
神, 振戦, うつ病, 不眠, 呼吸困難, 咳, 肺  
炎, 高血圧, 深部静脈血栓, ほてり, 心房  
細動, ●発熱13%, 感染(創傷感染, 丹毒,  
ヘルペスウイルス感染, 好中球減少性  
感染等), 創部痛, ●疲労5%, 関節痛, 浮  
腫, 顔面浮腫, 衰弱, 腹水, 脱水, 骨盤痛, 出  
血, 貧血, かすみ目, 体重↓, ●  
AST↑27%, ●ALT↑21%, ●総ビリル  
ビン↑10%, Al-P↑, ●クレアチニン  
↑14%, ●Ca↑7%, Ca↓, ●Na↓6%, K↑  
K↓。

注射部位: ●疼痛13%, ●静脈炎7%,  
血栓, 紅斑, 腫脹, 肥厚, 硬結,